



2021年3月期第2四半期

決算説明会資料

2020年11月16日

株式会社アイ・ピー・エス

証券コード 4390

企業理念

OPEN DOOR

私たちは、いまだ誰も突破できていない障壁のある生活に密着した分野で、誰よりも先んじて事業機会を創造し、事業を展開し、産業構造を変え、あるべき社会を実現してまいります。

経営目標

「共生社会の実現」

少子高齢化の中では、移民の受け入れは不可欠であり、多様な価値が調和していく社会の実現を目指します。



1 | Executive Summary

2 | 2021年3月期第2四半期 決算概要

3 | Topics

1. Executive Summary



2021年3月期第2四半期 決算概要

売上高：3,373百万円 営業利益：624百万円 営業利益率：18.5%
(前年同期比6.7%増) (前年同期比14.4%増)

2021年3月期第2四半期の事業推移

1. 海外通信事業は、短期リース増加などにより増収・増益。
2. フィリピン国内通信事業は、法人向けインターネット接続サービスなどの増加により増収・増益。
3. 国内通信事業は、コールセンター向けのサービスが拡大し、在宅勤務などの増加により通信が増加したことにより、増収・増益。
4. 在留フィリピン人関連事業は、コロナウイルス感染症の影響により人材紹介などが低調に推移し、減収、営業損失が続く。
5. 医療・美容事業は、コロナウイルス感染症の影響により3医院を一時休業としたことにより減収。

ビジネス

1. 海底ケーブルC2C回線の一部をIRUにより取得。2020年10月にサービス開始。
2. コロナウイルス感染症の影響により増加した通信トラフィックに対応。
3. コロナウイルス感染症に対応した事業活動を模索。

2 2021年3月期第2四半期 決算概要

【2021年3月期第2四半期 連結実績】

(単位：百万円)

	第2四半期				第2四半期累計			
	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	%	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	%
売上高	1,583	1,559	-24	-1.6%	3,161	3,373	211	6.7%
営業利益	237	299	62	26.3%	546	624	78	14.4%
経常利益	263	283	20	7.9%	495	570	75	15.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	176	198	22	12.5%	316	392	76	24.0%

- 売上高：医療・美容事業がコロナウイルス感染症の影響で一時的休業したことにより減収となったものの、国内通信事業が好調に推移したことにより、前年同期比6.7%増加。
- 営業利益：売上が伸長した国内通信事業が大幅増益となり、前年同期比14.4%増加。
- 経常利益及び親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益：営業利益の増加に伴い、それぞれ、前年同期比15.2%、24.0%増加。

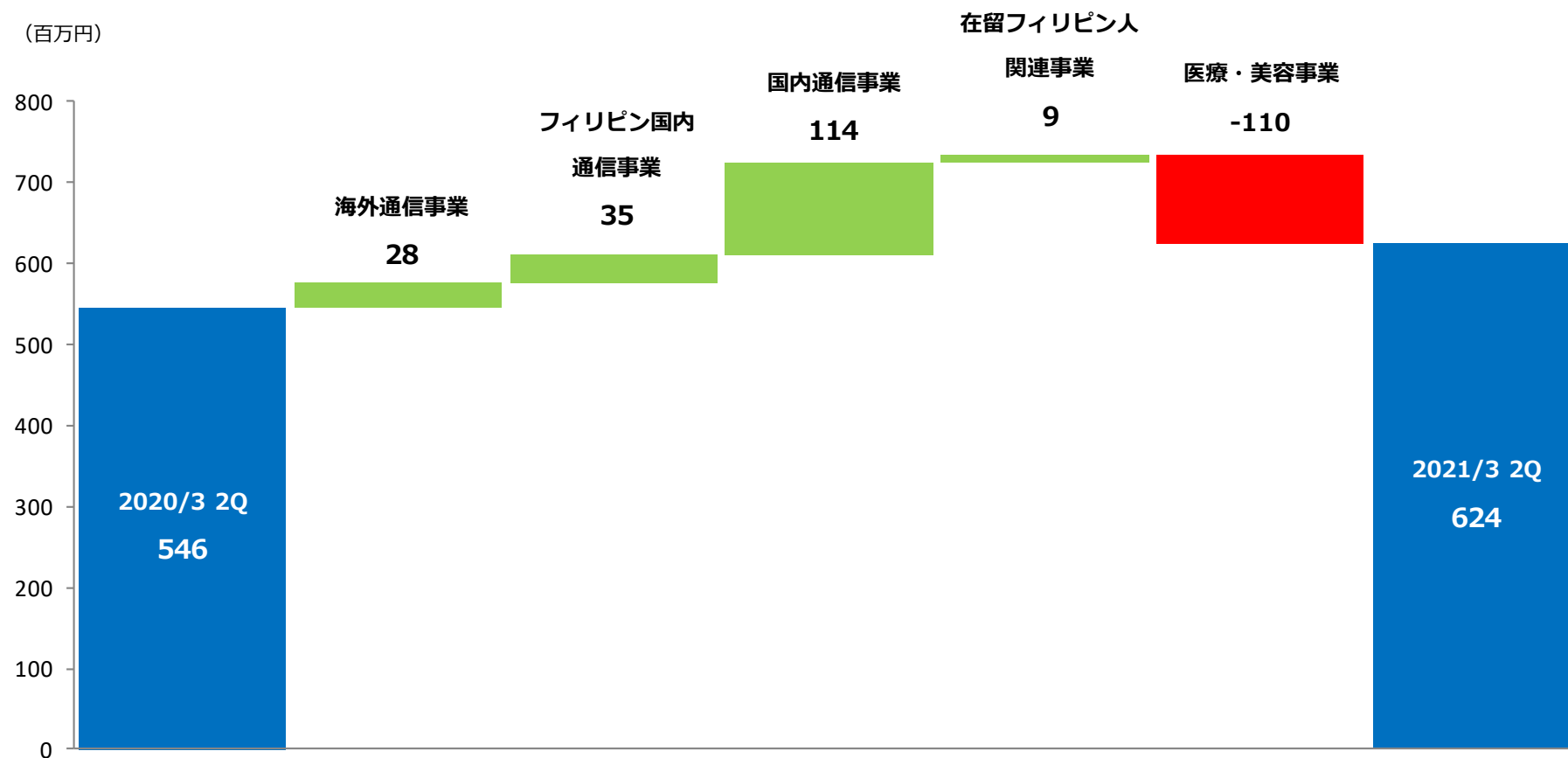
事業セグメント別経営成績



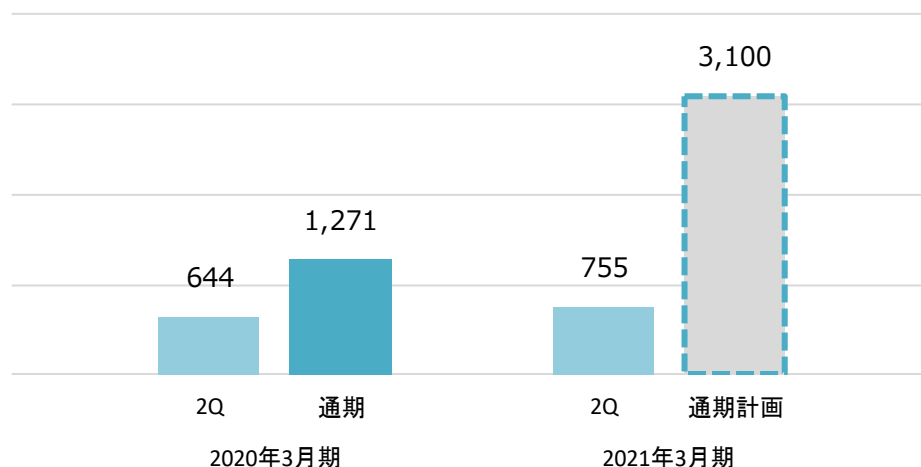
(単位：百万円)

		2020年3月期2Q	2021年3月期2Q	前年同期比	
					%
海外通信事業	売上高	644	755	111	17.3%
	営業利益	237	265	28	12.1%
フィリピン国内 通信事業	売上高	401	480	78	19.7%
	営業利益	42	77	35	82.9%
国内通信事業	売上高	1,584	1,878	293	18.5%
	営業利益	172	287	114	66.4%
在留フィリピン人 関連事業	売上高	105	44	-60	-57.3%
	営業利益	-39	-29	9	-
医療・美容事業	売上高	426	213	-212	-49.8%
	営業利益	133	23	-110	-82.6%
合計	売上高	3,161	3,373	211	6.7%
	営業利益	546	624	78	14.4%

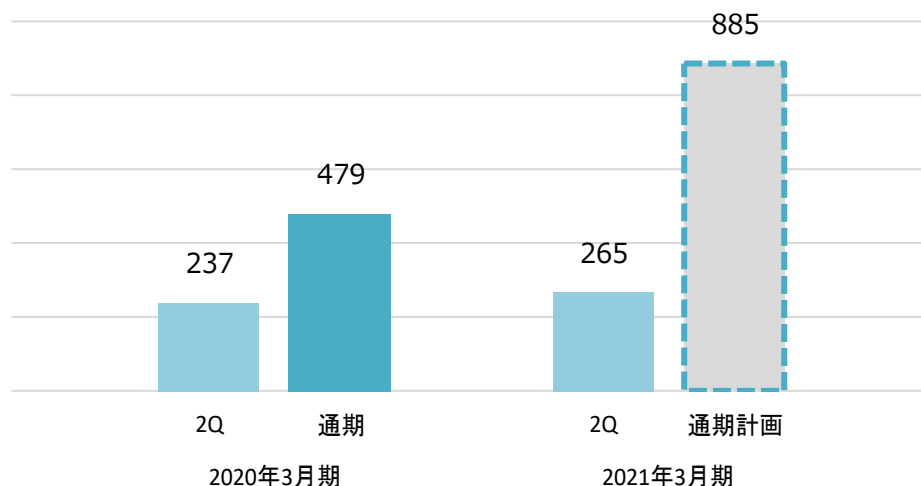
国内通信事業が利益拡大を牽引。



売上高(百万円)



営業利益 (百万円)

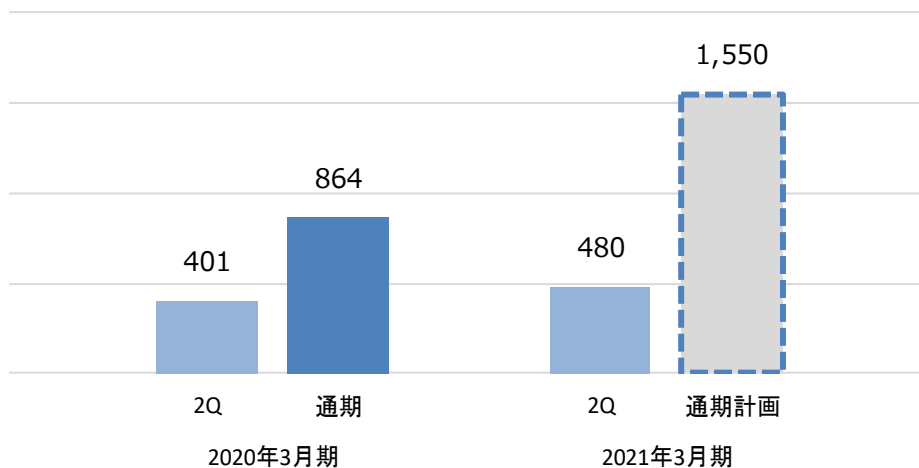


通信事業者として、さらなる事業拡大を図るため、C2C回線の一部を取得。

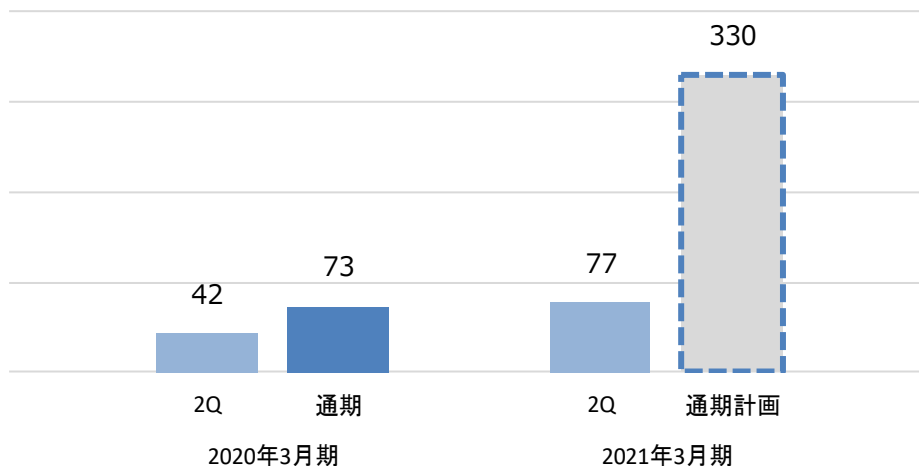
- 1. 国際通信回線の第3のキャリア**
 2020年5月、マニラ-香港、マニラ-シンガポールを結ぶ海底ケーブル「C2C回線」の一部を取得。国際通信回線において、フィリピンで第3番目のキャリアとなる。
- 2. 短期リースの販売増加**
 フィリピンでも、新型コロナウイルス感染症の影響により在宅勤務等の増加による通信回線がひっ迫し、短期リースの提供が拡大。
- 3. ミンダナオ島の敷設工事の遅延**
 ミンダナオ島での回線敷設工事は、新型コロナウイルス感染症の影響で遅延。

C2C回線は、2020年10月に開通し、今後提供先の拡大を図ってまいります。

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



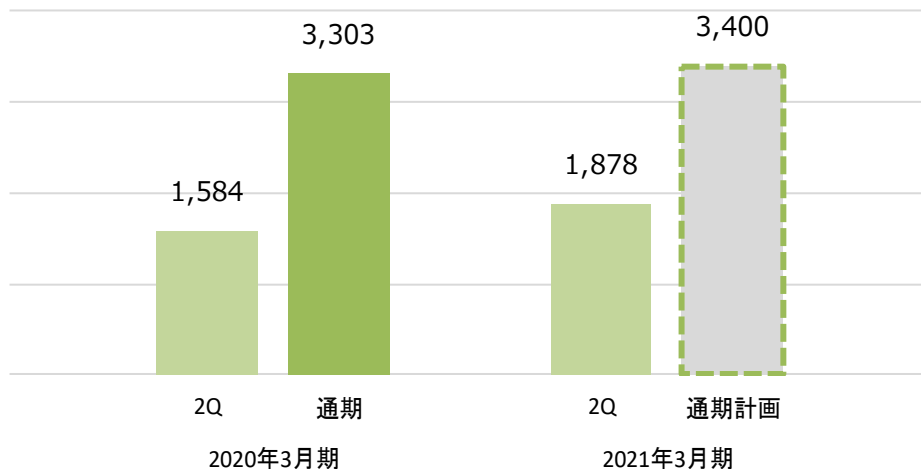
ロックダウンの影響を受け、法人向けインターネット接続サービスの新規獲得の伸びが鈍化。

マカティ市での法人向けインターネット接続サービスの積極的な営業活動を行うも、2月以降はコロナウィルス感染症によるマニラ首都圏のロックダウンの影響で、在宅勤務を行う企業が増えたことなどにより、営業活動に大きな影響を受ける。

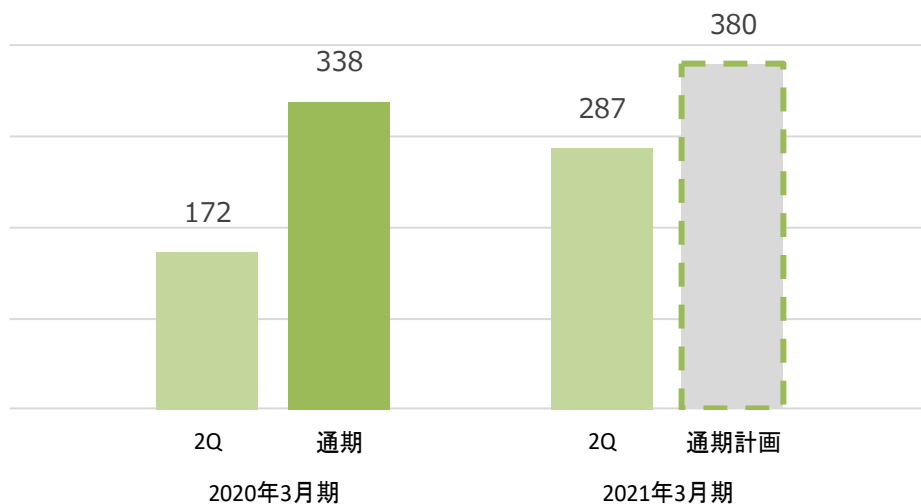
感染症拡大防止のため、人の移動が制限されたことから、光ファイバー網の敷設に遅れが生じている。

Webマーケティングなどを活用し、新規顧客の開拓を強化している。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



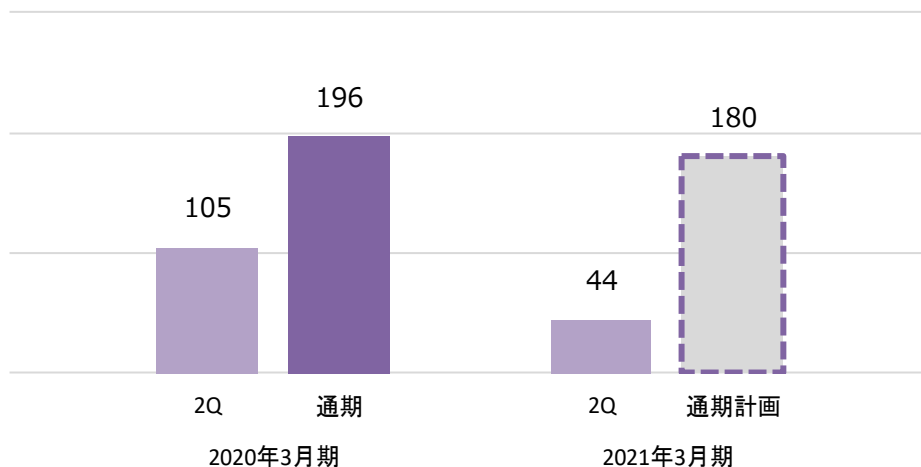
コールセンターシステム、秒課金サービス等が好調。

コロナウイルス感染症の影響による在宅勤務やWeb会議等の増加により、通信トラフィック需要が増加。コールセンターシステムAmeyoJのライセンス料の伸長や、AmeyoJと秒課金サービスを合わせたコールセンターソリューションの売上が拡大。

在宅でのコールセンター業務を希望する声に対応するサービスの提供を開始。

今後も、テレワークの拡大等、市場環境の変化に応じた多様なサービスの提供により、新規顧客開拓を進めていく。

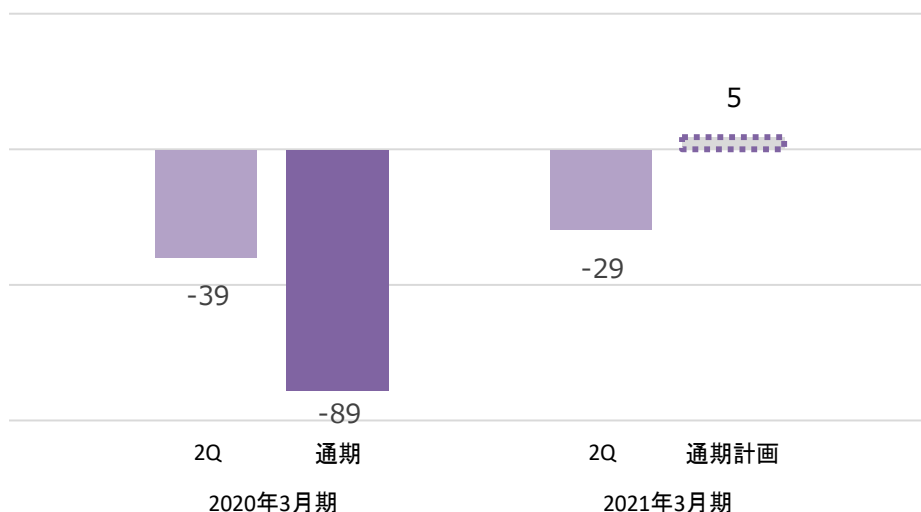
売上高 (百万円)



事業構造転換を図るも、コロナウイルス感染症の影響で、求人需要が大きく減少。

コロナウイルス感染症の影響で日本語能力や経験者の応募が増加するなど、求人状況に大きな変化が生じ、採用基準が厳しい状況となった。サービス業や清掃業などの介護業界以外の求人需要も大きく減少。

営業利益 (百万円)

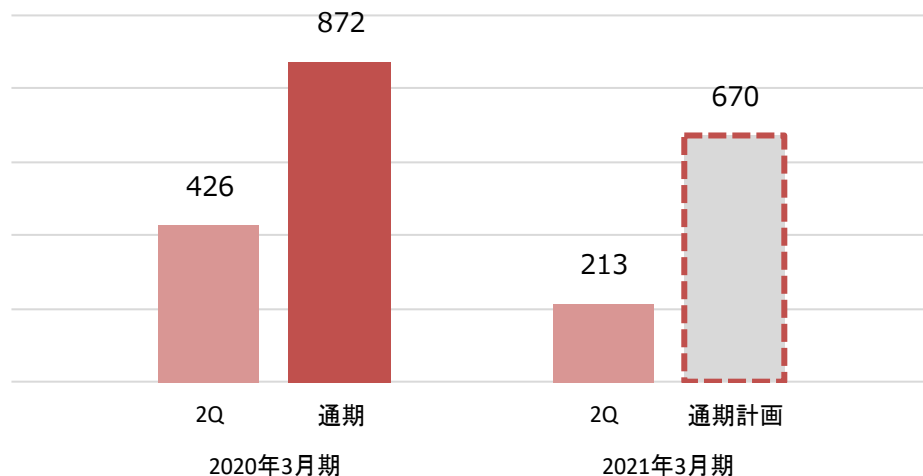


介護事業者向けの人材紹介に注力して黒字化を図る計画であったが、厳しい人材採用環境を受け、引き続き赤字を計上。

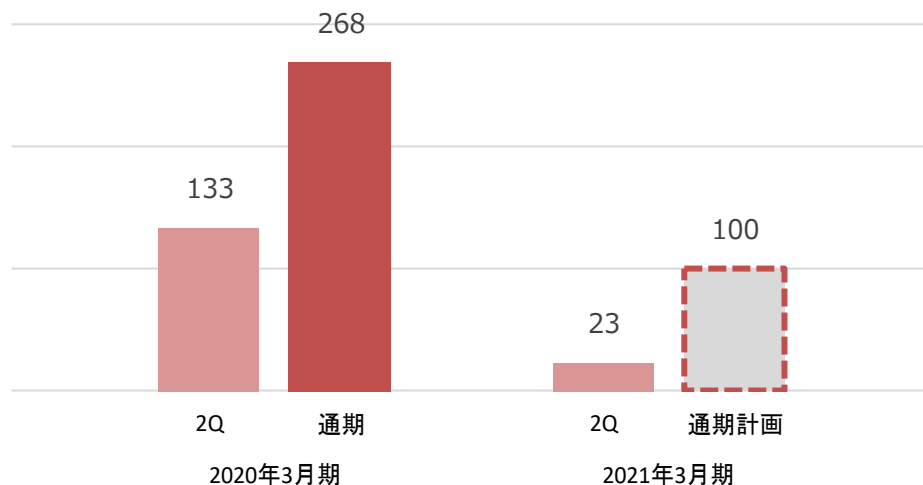
2021年1月1日付で、人材関連事業（人材紹介業・人材派遣業）を事業譲渡。

今後は、在留フィリピン人に送金の斡旋などにより収益の改善を図っていく。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



第3院を開設するも、コロナウイルス感染症拡大の影響で一時休業。

2020年3月にBonifacio Global Cityに、新たに高所得者を対象とした第3院を開設。

コロナウイルス感染症の拡大によりマニラ首都圏がロックダウン下に入ったことから、3月末から一時休業を余儀なくされ、大幅な減収・減益となる。なお、休業中に発生した賃借料、減価償却費などを特別損失として47百万円計上している。

5月末のロックダウン解除後は、ソーシャルディスタンスの確保のため、来院者数を制限するなど感染症拡大防止を徹底して営業を再開している。

連結貸借対照表 (サマリー)



(単位：百万円)

	資産の部				負債・純資産の部		
	2020年3月期末	2021年3月期2Q	増減		2020年3月期末	2021年3月期2Q	増減
流動資産	5,121	6,016	895	流動負債	2,445	4,658	2,213
現金及び預金	2,498	3,170	671	買掛金	419	360	▲ 58
売掛金	947	1,209	261	借入金	444	744	300
リース投資資産	1,163	936	▲ 227	その他	1,581	3,553	1,972
その他	510	700	189	固定負債	629	1,869	1,239
				長期借入金	449	1,677	1,227
固定資産	2,669	5,739	3,070	その他	179	191	11
有形固定資産	1,737	1,956	218	負債合計	3,074	6,528	3,453
無形固定資産	173	3,009	2,836	純資産	4,715	5,227	512
投資その他資産	758	773	14	株主資本	3,840	4,237	397
				累積包括利益	47	23	▲ 23
				新株予約権	7	7	0
				非支配株主持分	820	959	138
資産合計	7,790	11,756	3,965	負債・純資産合計	7,790	11,756	3,965

固定資産30億の主な増加要因は、C2C回線の取得によるものです。

(単位：百万円)

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期			
		通期予想	前年比 (%)	第2四半期実績	達成率 (%)
売上高	6,508	8,900	36.7%	3,373	37.9%
営業利益	1,070	1,700	58.8%	624	36.7%
経常利益	1,075	1,650	53.4%	570	34.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	645	1,050	62.7%	392	37.4%

事業の進捗状況に差異はあるものの、概ね計画通りの進捗のため、通期業績予想は変更しておりません。

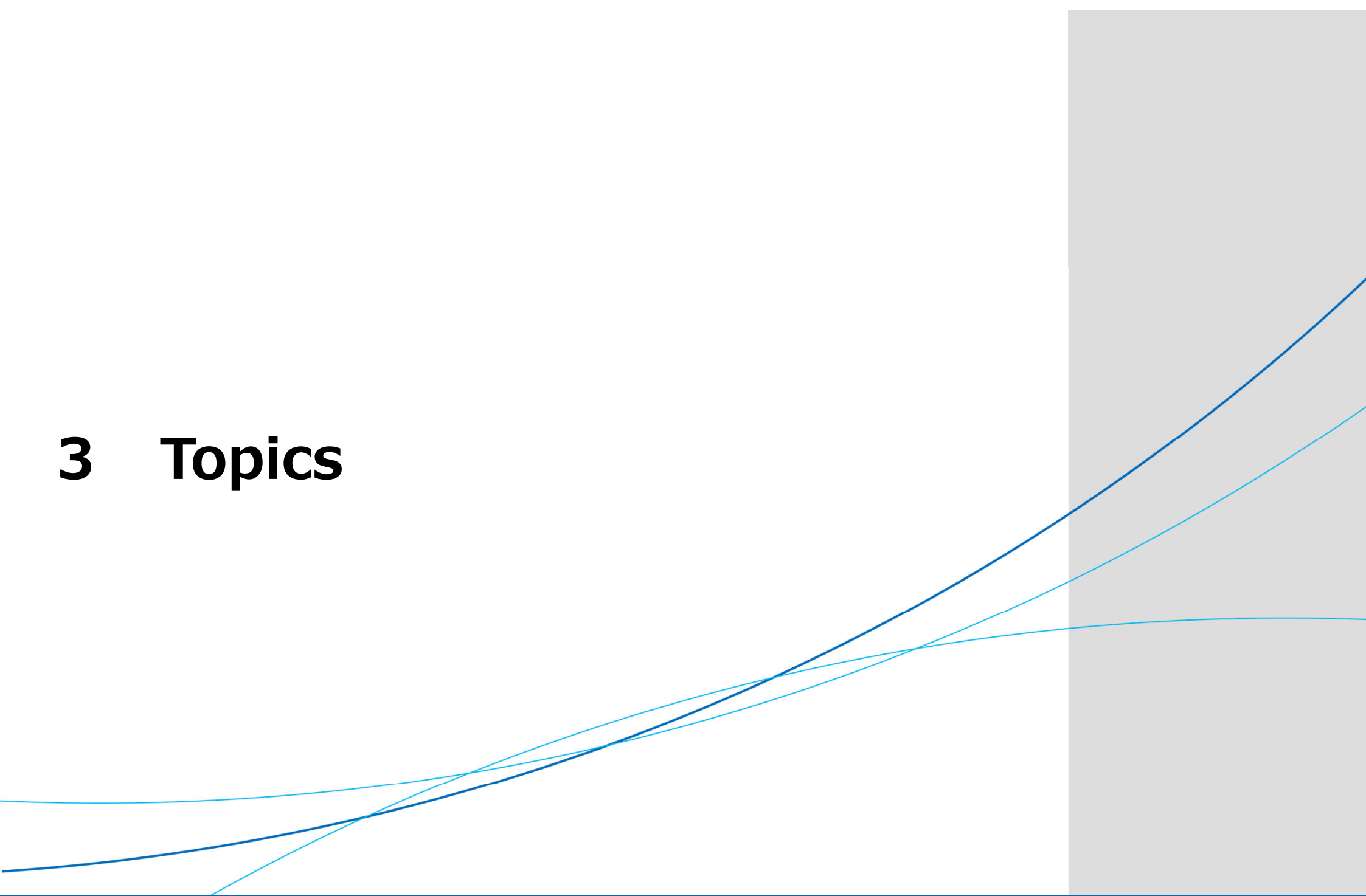
2021年3月期 セグメント別通期業績予想



(単位：百万円)

セグメント	2020年3月期実績	2021年3月期		
		通期予算	2Q実績	達成率
売上高	6,508	8,900	3,373	37.9%
海外通信事業	1,271	3,100	755	24.4%
フィリピン国内通信事業	864	1,550	480	31.0%
国内通信事業	3,303	3,400	1,878	55.3%
在留フィリピン人関連事業	196	180	44	24.9%
医療・美容事業	872	670	213	31.9%
営業利益	1,070	1,700	624	36.7%
海外通信事業	479	885	265	30.1%
フィリピン国内通信事業	73	330	77	23.4%
国内通信事業	338	380	287	75.7%
在留フィリピン人関連事業	-89	5	-29	-
医療・美容事業	268	100	23	23.2%

3 Topics



(1) 海底ケーブルの取得



2020年5月に、オーストラリア最大手通信事業者の海外部門子会社から、フィリピンと香港・シンガポールを結ぶ海底ケーブル（C2C）の一部の使用権を取得しました。

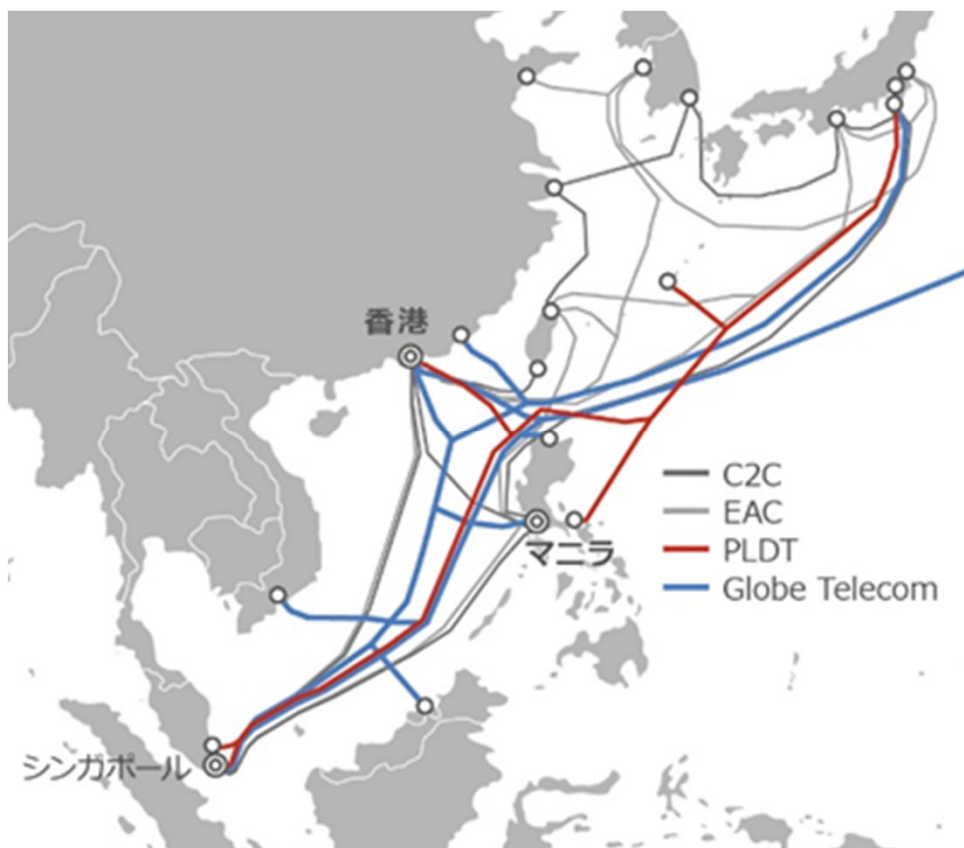
これまでフィリピンでは、海底ケーブルの権利を保有し運用しているのは、大手通信事業者2社のみ。

現地大手通信事業者が独占している国際回線のマーケットに、3番目のキャリアとして参入。

今回フィリピン側の事業者の承諾を得て、フィリピンでC2C回線が10年以上ぶりに利用再開。

当社は、この海底ケーブルに通信機器を接続して、3拠点を結ぶ大容量の通信回線を、10月に開通いたしました。

(2) 海底ケーブルを取得することによる事業へのインパクト



(1) フレキシブルな需要への対応

当社グループでは、地域の通信事業者から大口需要家までのさまざまな国際通信回線の需要に対応できるようになります。

また、当社グループで海底ケーブルの両端の設備を保有しているため、需要に対応した容量の生成など、機動的な対応が可能となります。

(2) IX拠点の開設

フィリピンでは、小規模なIX（インターネットエクスチェンジ）しか存在していないため、高品質のインターネットサービスを提供するためには、香港など海外のIXに接続する必要があり、国際通信回線の確保等に高いコストをかける必要があります。

C2C回線を最大限活用して、フィリピン国内のデータセンターにIX拠点を開設し、フィリピン国内においてデータの交換ができる環境の構築を目指してまいります。

(3) コスト削減による競争力の強化

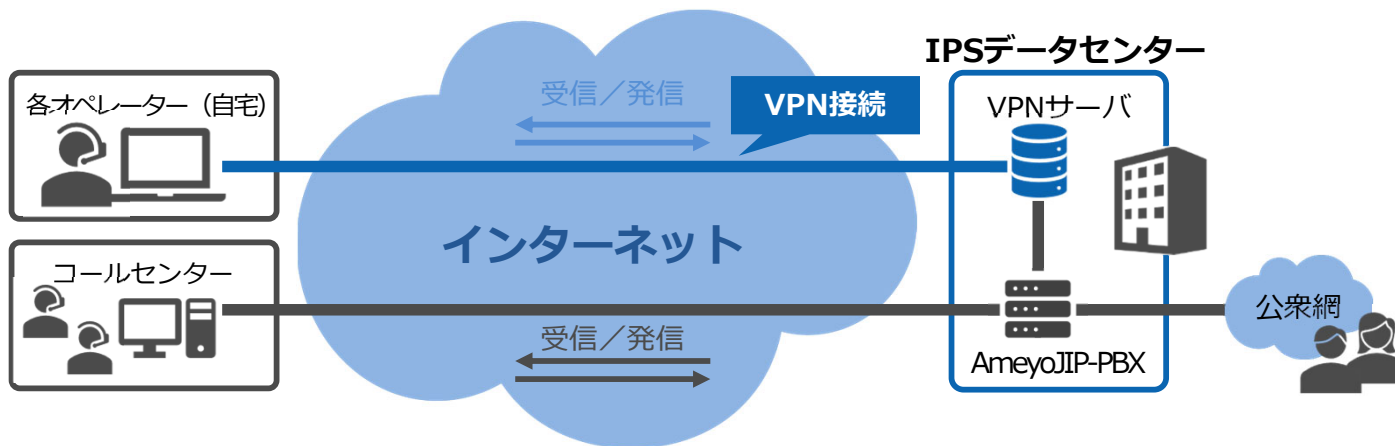
法人向けインターネット接続サービスの提供に必要な通信回線やCATV事業者向け国際通信回線からC2C回線への切替を進め、コストの削減を図ってまいります。

(3) 国内通信事業のコロナウイルス対策への取り組み

コールセンターソリューションの強化

国内通信事業においては、コロナウイルス感染症の影響により在宅勤務などの増加に対応し、コールセンターシステムAmeyo Jの機能に、在宅コールセンターサービスを追加いたしました。これは、一般的に密になりやすいコールセンターの課題を解決するため、セキュリティを確保したうえで、自宅でコールセンター業務を行えるようにしたものです。今後も、お客様のニーズに対応したサービスを開発してまいります。

AmeyoJ クラウド PBXネットワーク 構成図 (VPNあり)



11月12日/13日
コールセンター/CRM
デモ&コンファレンスに参加

(4) 在留フィリピン人関連事業の再編

人材関連事業の譲渡

当社は、本年11月、在留フィリピン人向けなどに提供してきた人材関連事業（人材紹介業・人材派遣業）を2021年1月1日をもって、外国人専門の賃貸住宅保証事業や就職紹介事業などを行う株式会社グローバルトラストネットワークスに事業譲渡することを決定。

在留フィリピン人を中心とした在留外国人に対して人材紹介業・人材派遣業を提供する人材関連事業と携帯電話や海外送金サービスの顧客開拓・利用促進などを行う顧客開拓・利用促進事業を提供している在留フィリピン人関連事業は、過去2年間に赤字を計上しており、事業の再構築中ですが、コロナウイルス感染症の影響などを考慮し、人材関連事業を譲渡いたします。

今後は、国内通信事業の拡大に注力してまいります。

会社名
(英文社名)

株式会社アイ・ピー・エス
IPS, Inc.

設 立

1991年10月

本社所在地

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8階

事業内容

海外通信事業：フィリピンのCATV事業者等に国際通信回線を提供

フィリピン国内通信事業：フィリピン国内での法人向けISPの提供

国内通信事業：日本国内での通信サービスの提供

在留フィリピン人関連事業：日本国内での在留外国人向け求人サービスの提供など

医療・美容事業：フィリピンでの医療・美容サービスの提供

グループ企業

主な連結子会社

KEYSQUARE INC.

Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation

InfiniVAN, Inc.

本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

《IRに関するお問い合わせ先》

株式会社 アイ・ピー・エス

IR室

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1
東劇ビル8階

TEL: 03-3549-7719 FAX: 03-3545-7331